



グリーンノート

緑のまちづくり協会は、市民・企業のみなさまと共に、一人一花運動に取り組んでいます。
緑のコーディネーター 309 人 地域の森づくり活動団体 21 団体 地域の花づくり活動団体 225 団体
花壇スポンサー企業 157 社 (令和4年9月1日現在)



一人一花
ショット
@舞鶴公園

発行元 (公財) 福岡市緑のまちづくり協会

祝 グリーンノート

200号

おかげ様で
ついに
「200号」に
なりました

みなさまと一緒に歩んだグリーンノート歴史

はじめて /



平成18年創刊号発行

ついに /



100号発行!

平成26年

WOW /



一人一花運動始まる

平成30年141号

やったネ /

200号発行



令和4年12月

福岡市緑のまちづくり協会
理事長 大谷 雄一郎



グリーンノートは、平成 17 年開催の「全国都市緑化ふくおかフェア～アイランド花どんたく」を機に、翌年 5 月に緑のコーディネーター通信として発刊が始まりました。以来、緑コの皆様をはじめ、花と緑の地域活動団体の皆様や「一人一花運動」への協賛者様などと

の情報交換やネットワークづくりに役立ってきたものと思います。

また、「花で共創のまちづくり」を念頭に平成 30 年から始まった「一人一花運動」は、改めて市民の皆様へ、花と緑があふれるまちづくりへの憧れと衝動を呼び起こし、大変多くの市民・企業の皆様を巻き込んでの大きなムーブメントとなっております。

緑のまちづくり協会では、引き続き、花と緑のまちづくり活動の支援に力を注ぐと共に、皆様の活動のお役に立つグリーンノートの発行を次の 300 号に向けて取り組んでまいります。

たく
あり

初代編集者
白井 ひかりさん



グリーンノート 200 号おめでとうございます！
創刊時に担当をしておりました白井です。

当時、緑コさんの個々のポテンシャルの高さを感じ、皆さんの交流の場になればと、とにかく勢いで始めたグリーンノートでしたが、たくさんの記事を投稿していただき、こんなに長く続けていただけたのは嬉しい限りです。

今後も緑コさんの生き生きと活躍する姿を楽しみにしております。

初代編集者
安重 富子さん



緑のコーディネーターの皆様、緑の活動団体の皆様お元気ですか？

在職中は大変お世話になりました。

16 年前、私は緑のコーディネーターの担当になり緑のネットワーク作りのための情報誌を発行することになりました。

発行するにあたりタイトルを募集し「グリーンノート」に決定しました。その時の景品がグリッピ人形だった事を覚えています。

発行するたびに緑のノートが増えて、今回「グリーンノート」200 号の発行と聞き、とても嬉しく誇らしく思いました。

皆様これからもどうぞお元気で、益々のご活躍をお祈りいたします。

緑のコーディネーター
高井 カホルさん



グリーンノート 200 号記念おめでとうございます。

22 回全国都市緑化ふくおかフェア 花どんたくが 2005 年（平成 17 年）9 月 9 日より開催されました。その前の 2004 年（平成 16 年）3 月から 9 月までのボランティアリーダー養成講座を受講し、花博の時は花のガイドをしました。その後緑のコーディネーターが発足しました。

早いものですね。あっという間の 16 年です。

色々な活動に参加し、たくさんの思い出ができ、50 回の投稿ができたことをうれしく思います。

私はパソコンをしていませんので、グリーンノートで緑のコーディネーターさんの活動の様子がわかり、楽しみに拝読しています。

これからも花壇づくりや様々な活動に参加します。



畳一面に広げたグリーンノート
(高井さん保管)

さんのお祝いメッセージ がとうございます

みどり課企画推進係一同

緑のコーディネーター

愛が大盛り 大森 愛さん



緑の活動団体

大濠 公園ガーデニングクラブ

花栗 美百合さん、大森 愛さん



創刊 200 号に寄せて

グリーンノート創刊 200 号、おめでとうございます。

毎月楽しく拝見しております。私共、大濠公園ガーデニングクラブも、間もなく発足から 19 年を迎えます。今後、現在まで私たちが公共花壇で培ってきた多年草花壇のノウハウをグリーンノートに連載し、ご報告させていただきたいと思います。この先も皆様と一緒に花であふれる福岡市のまちづくり、「一人一花」を実践していきたいと思っています。

大濠公園ガーデニングクラブの紹介

福岡市中央区大濠公園（花と緑の水系公園）内の中心エリア・ボートハウス前の 6 つの花壇を管理しています。花壇は、大濠公園の環境に合ったデザインを設計し、花壇はそれぞれ違うコンセプトで植物を選択しています。365 日花が咲いている《花の迎賓館・大濠公園》で、多年草を中心とした四季折々の美しい花壇づくりを目指しています。現在会員 39 名で活動中。



ホームページ



<https://miyuri-hana.jp/ogc/>

おもてなし花壇協賛者
後藤 謙治さん



緑のネットワーク通信「グリーンノート」が創刊200号を迎えられ、誠におめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

これほどに、(公財)福岡市緑のまちづくり協会関係者皆様の長年にわたるご努力によるものと敬意を払っております。

今後ともさらに花や緑に関する知識や情報等を発信していただき、みなで花の街「フランクシティ福岡」を創っていく情報誌として、グリーンノートのますますのご貢献、ご発展をお祈りいたします。

おもてなし花壇協賛者
後藤 謙治

P.S. 私はおもてなし花壇協賛者になった以降、グリーンノートにおいマイ・フランクシティ福岡を投稿しています。掲載されるに、ワクワクドキドキ!!。これからも投稿を続けたいという努力目標「マイSDGs」を掲げています。

緑のスケジュール

緑のスケジュールをみなさんの緑の活動にお役立てください。
みなさんで作るページです。掲載したい催しがある方は、
みどり課までご連絡ください。



福岡市植物園 URL botanical-garden.city.fukuoka.lg.jp/

福岡市動植物園総合 URL zoo.city.fukuoka.lg.jp/

詳しくはホームページ又は市政だよりをご覧ください

お手伝いしてみたい緑コ講座がございましたら、みどり課までお気軽にお問い合わせ下さい

新型コロナウイルスの状況に応じ、延期や中止になる場合があります。詳しくは、各機関にお問合せください



URL midorimachi.jp

☎ 822-5832 (みどり課)

1/2
月

新春植物展

期間/1/2(月) ~ 1/29(日)

場所/緑の情報館 ※入場料別途

福岡市植物園

6
金

春の七草粥会

時間/11:00~ (9:00~入口広場にて整理券配布)

定員/先着200名 ※入場料別途

福岡市植物園

14
土

旬の植物ガイド

時間/13:30~ 参加費/無料※入場料別途

解説/植物園緑の解説員

定員/30名 (当日先着順、事前申込不要)

福岡市植物園

18
水

緑コ体験講座 たべられちゃう!?ハーバリウム

時間/14:00~16:00 講師/川上 桂さん

場所/中央市民センター

参加費/2,000円 定員/20名



第23回花と緑のまちかど写真コンテスト 受賞作品展

大賞

福岡市内で撮影された「まち
×花・緑×人×とき」を写し取
った一人一花ショットを募集、
コンテストを行い、その入賞作
品を展示します。



「街なかのオアシス」 中村 克実

開催日時 2023年1月23日(月) ~ 29日(日)
10:00~18:00(最終日16:00まで)

開催場所 アクロス福岡 コミュニケーションエリア

入場料 無料

募集

地域の森・花づくり活動支援事業

令和5年度 助成対象団体を募集

募集期間

1/4 水 → 31 火

市民の方々に結成された団体が自主的に取り組まれる緑化活動のための費用を助成します。

地域の森づくり

樹林地等の保安全管理(間伐、剪定、除草など)・
再生(植樹)樹林地等の面積が300㎡以上の
活動に対して、開始から3年間は上限20万円、
4年目以降は上限10万円を助成。

緑の名所づくり

校区単位以上の広範囲にわたる市街地に植樹
を行う活動に対して、最大3年間上限20万円
を助成。

地域の花づくり

花壇等の面積が10㎡以上の活動に対して、開
始から5年間は1㎡あたり2000円(上限20
万円)、6年目以降は1㎡あたり1000円(上
限10万円)を助成。

お問合せ ▶

緑のまちづくり協会 みどり課

TEL/ 092-822-5832

FAX/ 822-5848

E-mail/ hara.k@midorimachi.jp

みどりまち



「パラアートOITA」鑑賞

温州市・済南市（中国）×慶州市（韓国）×大分県によるアート作品展

報告

おもてなし花壇協賛者
後藤 謙治さん

「花々は心を豊かにするだけでなく、生きる気力を与えるものかもしれない」（米国・ラトガーズ・ニュージャージ州立大学のジャネット・ハヴィルランド・ジョーンズ教授）

今秋、温州市・済南市（中国）、慶州市（韓国）、そして大分県の障がいのある人が、個性として表現するアート＝パラアートの作品展「パラアート OITA」が、大分県立美術館（大分市寿町）1 階アトリウムで開催されました。「東アジア文化都市 2022 大分県」関連企画。

アジアのパラアートの作品はいかがでしょうか。国境を越え、障がいを越えた作品は、鑑賞した私にアートの楽しさを与えてくれました。

お花のある
生活は
和みます



「花の歳時記」
原野 彰子さん（別府市）



「富と幸運」
王 珊さん（周南市・中国）

最後に爺川柳一句

アート楽し、ミラーニューロン* まだ大丈夫

* 脳の共感する細胞

小学校でのレクチャー

報告

緑のコーディネーター
上床 忍さん

11/5

多々良中学校

参加者 / 保護者、PTA 役員

中学校の花壇はたくさんあり、保護者に協力していただき、除草作業のメンバーと花植えの作業メンバーと時間をずらして、作業をしました。

花植えでは、注意することや苗の植え方の指導後に、作業に入りました。チューリップの球根の植える深さも確認しながら、植えていきました。



11/10

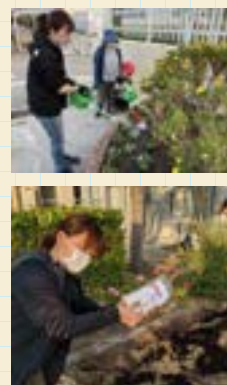
舞松原小学校

参加者 / 保護者 6 名（親子 3 組）、フラワーボランティア 2 名

小学校の花植えは、保護者の方も慣れてきて、打ち合わせや準備もスムーズに行くようになりました。花植え作業もレイアウトを見ながら、ポットを並べ植え方を確認してから、2 つの花壇に分かれて作業しました。

土の中からいろんな虫たちが出てくるたびに子どもたちが大騒ぎしていました。

植えた花に水やりをして、手入れ方法を説明をしました。その後も LINE のグループから報告があり、私もアドバイスしやすかったです。



令和4年11月の活動報告



春のスイセンやチューリップ、夏のカラフルな花、風に揺れるオーナメンタルグラスで楽しませてくれた姪浜駅前花壇は、これからしばらくの間休眠期に入ります。

めいのはま宿根草ガーデンの会では、11月に入ってから、会員とボランティアの方々と一緒に宿根草とチューリップ等の球根の植え付けを行いました。

宿根草は、カタログの中から九州の暑い気候でも耐えられそうな植物と、福岡でも育つかどうかを試してみたい植物を選んで植えました。



報告 めいのはま宿根草ガーデンの会 葛原 朋子さん

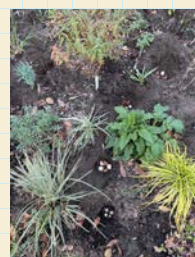
昨年はチューリップ約 300 球が、駅前を鮮やかに飾ってくれましたが、今年は更に去年を上回る 700 球を購入しました。

植え付け場所も、モニュメントの周りと樹木が植えてあるシェードガーデンまで、2倍に広がりました。

ムスカリ、フリチリア、原種チューリップ、チオノドクサ、プスキニア、スノーフレーク、つりがねそう、クロッカス、水仙など小さな球根も合わせると、およそ 1300 球を植え込んでいます。

早いものでは 3 月の中旬ごろから咲き始めるので、早春に見られる風景を想像するととても楽しみです。

地下鉄姪浜駅の近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄り下さい。



櫛田神社前花壇の植え替え

キャナルシティ近く、地下鉄七隈線の新駅「櫛田神社前」の出口にある花壇、冬バージョンに植え替え完了しました😊



報告 緑のコーディネーター 吉松 晃子さん



2 階の渡り廊下も植え替え完了😊

どんぐりの森をつくろう

報告

緑のコーディネーター

佐竹 省三さん、高井 カホルさん、大熊 紀美子さん



見事な秋晴れの一日にどんぐりの森での自然体験会に参加しました。

ジョウビタキの音が響く中、矢原先生の講話は皆で歌う「どんぐりの歌」から始まりました。どんぐりはなぜお池に落ちるのか？この謎から田んぼやため池の里山風景にどんぐりの木々が欠かせない重要な3つの理由をみんなで考えました。(1)保存できる食料に(2)薪として燃料に(3)河川の水害防止、高潮を防ぐ、防風などが答えでした。

説明中、糸島でもため池のあるこのゾーンにしか生息していないニホンアカガエルが数匹出てきて網と虫かごを手を持つ子ども達は待ちきれない様子。全員でゾーン地域に出発するとバッタ、コオロギ、ツチカエル、クモなど出てきてあちこちで歓声があがります。途中の小川では数人の子が川に入ってザリガニ、メダカを捕まえました。



木漏れ日の分厚い落ち葉を踏みしめながら保護者の方々と、マムシグサ、ツワブキ、テイカカズラ、ヒメアザミなど植物の話もはずみジュズダマはお手玉の中身にもしますよと話すと小豆しか知らなかったと驚かれています。

散策が終わり採集した生き物の解説、質問コーナーではバッタとイナゴの違い、働きバチと女王バチはどういうやり方で決まるのかなど子ども達は真剣に多くの質問をしていました。

初めはバッタさえ怖がっていた子ども達が、カエルやザリガニ、最後にはジョロウグモまで手乗りさせていたと矢原先生は嬉しそうに話されていました。帰りにはお土産のこのゾーンのクヌギのどんぐりでポケットをいっぱいに。笑顔の子ども達でした。



ヒメアザミ



ツワブキ

緑のまちづくり協会 ホームページフラッシュ

続きは、HPでお楽しみください！

URL midorimachi.jp



実施
報告

押花を使った
アロマワックスバーと
LRDキャンドル作り

梅光園緑道
中間辺りのサザンカ

花
マップ



YOU TUBE



ブログ



実施報告



花マップ





臨山野営場協力隊

水源林ボランティア会の流れを受け継ぐ団体です。園内の草刈り・樹木の除伐更新・孟宗竹林等適切管理による里山作りを目的とし活動しています。次代を担う青少年に自然の中で活動する喜びを伝えたいと思っています。

ここには、思わず深呼吸したくなる美味しい空気があります。



半道橋フラワークラブ

今年の4月から活動しているニューフェースの団体です。花好きの人たちが公園に集まり、楽しい花植え活動を通じて、住民同士の親睦と会員の皆さんの健康作りと公園の美化を目的に活動しています。

この写真を撮った日は、少年たちがサッカーボールを蹴って遊んでいました。



住吉若芽会

一人一花運動に共鳴し活動をしています。土づくりや花づくりを勉強して心身共に若返り、それを通して会員皆さんの健康づくりに、大いに貢献しています。

住吉で平成30年から活動を続け、近くの保育園の花壇にもチューリップを植えています。

子供たちの笑顔が一番のやりがいとなっています。

読者アンケート

アンケートにご協力をお願いします

下記を明記の上、メールまたはFAX、webにてご応募ください。

①住所・氏名・年齢・電話番号②良かったページ③本誌に期待すること、ご意見など



webアンケート

メール配信

メール登録者にお得意情報を配信します

タネや苗の提供情報や、研修会やイベントのご案内など、お得な情報を不定期にメールでお送りします。配信をご希望の方は下記を明記の上、メールにてお申込みください。

①氏名②所属(活動団体名、緑のコーディネーター)
※対象は協会の助成を受けている緑の活動団体、緑のコーディネーターに限る

活動団体の担当者が変わります

Higotani Hara

ご挨拶

この度、一身上の都合で12月末をもちまして退職することとなりました。在職中は大変お世話になり、ありがとうございました。5年間という短い間ではありましたが、皆様にはご指導、ご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。

肥後谷

グリーンノートへの投稿をお待ちしています

記事投稿は、内容を書面・メールにて提出してください。

1月号(1月20日発行)への投稿締切は12月31日です。

発行元・あて先

(公財)福岡市緑のまちづくり協会
みどり課

✉ ks@midorimachi.jp ☎ 822-5832 📠 822-5848

